

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

■ 第2次総合計画

基本方針(政策)	8	参加と協働でいきいきと活躍できる環境を築きます
計画項目(施策)	23	市民協働によるまちづくりの推進
＜施策分野＞		＜市民協働＞

所管部局	所管部局長の氏名
秘書広報広聴課	渡邊 歩
企画総務部	木村 嘉充
市民部	石嶋 政博

1. 総合計画で掲げている目的など

PLAN

施策の目的	市民と行政が一体となった市民協働のまちづくりを進めます。 また、ボランティア活動やNPO法人活動など、市民の自主的な活動の育成・支援に努めます。さらに、協働につながる広報・広聴の充実に努めます。
施策方針(めざす姿)	人材育成によって市民の潜在能力を引き出すとともに、市民主体の活性化活動を支援し、市との適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展を図ります。 市民の声をしっかりと受け止めた市政運営を図ります。

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市市民と行政の協働推進指針	市政参画の推進、多様な主体との協働・連携による公共サービスの提供などに取り組むため、市民と行政の協働の方向性を定めるもの。	平成18年2月	平成17年度～	平成27年3月改訂

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧

DO

CHECK

行政の主な取り組み ↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要				評価結果	
			H26決算額	H27予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	施策貢献度	今後の方向性
① 市民力の活性化										
○ 公共的・社会貢献的な取り組みを行う団体に対し、市民力活性化推進プロジェクト事業による支援を行います。										
○ 協働の意識づくりや協働の環境づくりのための研修会やセミナーの開催など、市民との協働を進めるための事業を推進します。										
1	花いっぱい運動推進事業	市民協働課	3,884	2,500(1,300)	市規定	単費	○	サービス	A	現状維持
植栽工事(五色桜27本)、花壇整備、プランター設置、講習会開催(33人参加)、植栽経費への助成(3件)等										
2	市民力活性化推進プロジェクト事業補助金【施策26[地域振興]にも該当】	市民協働課	2,339	2,500(300)	市規定	単費	○	サービス	S	現状維持
地域の活力向上や課題解決を目的とした事業に取り組む団体へ補助金を交付(13団体)										
3	市民協働のまちづくり事業補助金【施策26[地域振興]にも該当】	市民協働課	15,990	16,000(3,000)	市規定	単費	○	サービス	S	現状維持
地区等が行う地域振興事業に対して補助金を交付(154件)										
4	協働啓発学習事業【取組②にも該当】	市民協働課	-	158(58)	新規事業					
協働に関する基調講演とセミナー開催経費										
5	花いっぱいのまちづくり推進事業【再編交付金活用事業】	市民協働課	-	20,000(1,000)	新規事業					
竹野川沿い国道482号(丹後弥栄道路)と府道網野岩滝線への植栽工事										
6	地域おこし協力隊誘致事業	農林整備課	-	12,126(12,126)	新規事業					
地域おこし協力隊の配置に係る経費										
② 市民と行政との役割分担										
○ 市民が主役のまちづくりをより一層推進するため、補完性の原則のもと、市民と行政のまちづくりにおける役割分担の明確化に努めます。										
7	協働啓発学習事業【再掲】【取組①にも該当】	市民協働課	-	158(58)	新規事業					
協働に関する基調講演とセミナー開催経費										
③ コミュニティビジネスの事業活動を支援										
○ コミュニティビジネスの事業活動を活性化するための支援を行います。										
8	コミュニティビジネス応援事業【施策26[地域振興]にも該当】	市民協働課	8,058	10,597(5,597)	市規定	単費	○	サービス	S	現状維持
コミュニティビジネスに新たに取り組む地域活動団体に対し補助金交付(7団体)、リーフレット作成(23,000部)										
④ 情報共有と広報・広聴の充実										
○ 広報紙をはじめ、市のホームページや行政情報番組等を通じて、行政情報を市民に積極的に提供し、市民との情報共有を図ります。										
○ 広報にあたっては、効果的なパブリシティを積極的に活用するとともに、市民との双方向のコミュニケーションの強化に努めます。										
※ パブリシティとは情報を積極的にマスコミに提供し、マスメディアを通して報道として伝達されるよう働きかける広報活動										
○ パブリックコメント、ご意見箱、各種審議会、地区要望など、広聴に努め、市政に反映します。										
9	広報広聴事業【施策33[行財政運営]にも該当】	秘書広報広聴課	36,185	28,337(25,784)	なし	単費	○	サービス	S	現状維持
市政情報の提供・共有等のため広報紙を発行、コミュニティFM放送等を活用										
10	市ホームページ運用管理事業【施策33[行財政運営]にも該当】	秘書広報広聴課	3,351	3,577(3,156)	なし	単費	○	サービス	S	現状維持
ホームページなどを活用して、市政情報や地域情報などを市内外へ発信										
11	情報公開・個人情報事務	総務課	220	410(410)	国規定	単費	○	サービス	S	現状維持
情報公開請求に対して適切な対応(公開請求件数1,572件)及び個人情報の保護										
上記の「行政の主な取組」への位置付けが困難な事業										
12	地域振興一般経費	市民協働課	16	36(36)	なし	単費	○	内部管理	A	現状維持
市民参画と協働のまちづくりを推進するための事務経費等										
			計	70,043	96,241(52,767)					

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	① 協働についての理解を深め、研修会やセミナー、ワークショップに積極的に参加します。 ② コミュニティビジネスの創出及び事業活動の推進に努めます。 ③ 特色と活力ある地域づくりに協力します。 ④ 市政への関心を高め、広聴事業へ積極的に参加します。
--------	--

【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針(めざす姿)	人材育成によって市民の潜在能力を引き出すとともに、市民主体の活性化活動を支援し、市との適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展を図ります。 市民の声をしっかりと受け止めた市政運営を図ります。
------------	--

めざす目標値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
	市民力活性化推進プロジェクト事業補助金活用新規団体数(累計)	団体	47	H26	64	H26	100	H36
	市ホームページアクセス数(月)	件	485,651	H26	475,912 ^(※1)	H26	500,000	H36
	市Facebookファン数	人	1,653	H26	1,971 ^(※2)	H26	10,000	H36

※1 平成26年度月平均
 ※2 平成27年3月末

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

CHECK

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
○コミュニティビジネス応援補助金を創設(H26.4～)し、市民活動団体等による地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する取組に対して助成(対象事業7件)するとともに、市民力活性化プロジェクト事業補助金により地域の活力向上や問題解決等の取組に対して助成(13件)を行った。これらの助成を通じて、団体と行政において適切な役割分担のもとに効果的・効率的に取組が実施されるとともに、地域の継続的な発展の一助とすることができた。 ○広報紙や市ホームページに加え、平成26年度は、市の魅力や施策、統計データを取りまとめた市勢要覧を9年ぶりに発行(平成26年11月)するとともに、ニコニコチャンネル上に市の公式チャンネルを開設(平成26年4月)するなど市政情報の積極的な発信に努めた。また、広報紙については、分かりやすいという視点を重視して作成に取り組んだ結果、京都広報コンクールで知事賞(最優秀賞、4回目)を、近畿市町村広報紙コンクールでは優秀賞(4年連続)を受賞した。 ○地区要望や地区役員・市民グループ等とのまちづくりに関する座談会、ご意見箱に加え、平成26年度からは市民からの施策提言を受け付ける取組(市民施策提言)を実施するなど、市民参加のまちづくりを推進することができた。	○市民力活性化プロジェクト事業補助金については、平成19年度の制度創設以降一定期間が経過していることから、本制度により助成した団体における補助終了後の活動状況についてアンケート調査等を実施し、事業の効果検証を行う必要がある。 ○市政情報の提供について、内容が分かりやすくなるよう工夫したり、情報量を適切に調整して読みやすくしたりするなど、効果的かつ積極的な情報発信に努める必要がある。あわせて、市ホームページについては、利便性の向上等を図る必要がある。 ○市民参加のまちづくりを推進するため、広聴活動の充実に努めていく必要がある。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	○	地域の活力向上や課題解決に向けた取組等への支援に努めているところであり、市民力活性化推進プロジェクト事業補助金の新規団体への交付件数について、目標値に向け順調に増加している(対前年度比で17団体の増加)。 広報・広聴事業の取組についても、様々な媒体を通じた積極的な情報発信や各種広聴事業に努めており、市ホームページアクセス数については若干減少したものの、市FaceBookファン数は増加した。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28～30年度までの3か年の主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	効果的かつ積極的な情報発信に努めるとともに、市ホームページについて、その利便性等の向上に向け、レイアウト変更及び管理システムを見直し、一層の充実を図る	
	2	市民や地域活動団体における協働の意識づくりの促進と学習機会の確保、協働事業の実施などにより、地域づくりの核となる人材育成に取り組む	
歳出抑制(歳入確保)の考え方	1	広報きょうたんご おしらせ版の内容を精査・工夫することで、ページ数を削減し、印刷製本費の抑制を図る	
	2	有料広告枠の拡大について検討する	

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	13花いっぱい運動推進事業
細事業名	01 花いっぱい運動推進事業			決算書 P.94
総合計画	基本方針	V パートナースcip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
3,884千円		4,424千円		540千円
				執行率 87.7%
				(参考)当初予算額 4,381千円

目的	京丹後市の豊かな自然環境を活用し、河川沿いに木や花を植樹・植栽し、市民とともに花いっぱい運動を推進していく。		
主要な 事業 及び 成果 の 概要	○花いっぱい運動植栽工事	2,049千円	弥栄町和田野地内（国道482号沿い）に五色桜27本を植栽
	○市内各地花植栽事業（消耗品費等）	1,393千円	
	場所	内容	金額
	市役所前花壇	花壇整備、花植栽	301千円
	久美浜一区沿道	プランター設置	292千円
	夕日ヶ浦木津温泉駅付近沿道	プランター設置	100千円
	大宮ロードパーク	芝桜植栽	607千円
	国道482号沿い（弥栄町和田野地内）	植樹	18千円
	網野町内小中学校	PETボトルプランター作成	75千円
○花の種子パック購入（花いっぱい運動啓発用）	230千円		
○花づくり講習会	99千円		
			（実施日）平成27年2月24日（火） （参加者）33人
○花いっぱい運動推進補助金	113千円		
			花の種、苗、プランター等の花の植栽にかかる経費の補助（上限5万円）
	団体名	補助金額	
	奥大野区	50千円	
	善王寺区	50千円	
	ひまわり（峰山町杉谷）	13千円	
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	2,620千円
評価・課題等	○人目につく沿道や施設等に花を植栽し、市民や地域と協働して進める花いっぱいのまちづくりを推進することができた。 ○平成26年度から花いっぱい運動推進補助金の交付を開始したが、補助金の利用実績が少ないため、市内団体への広報を強化し、地域主導による花いっぱい運動を推進する必要がある。		
事業所管課	市民部／市民協働課		

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業
細事業名	01 市民力活性化推進プロジェクト事業補助金			決算書 P.102
総合計画	基本方針	V パートナースcip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
2,339千円		2,388千円		49千円
				執行率 97.9%
				(参考)当初予算額 4,000千円

目的	地域の活力向上や課題解決に向けた取組を行う団体の活動支援を行い、市民、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展を図る。		
主要な 事業 及び 成果 の 概要	○市民力活性化推進プロジェクト事業補助金	2,339千円	
	“市民力”を活かしたまちづくりを進めるため、地域の活力向上や課題解決を目的に取組を行う団体に補助金を交付した。		
	（単位：千円）		
	活動の種類	団体名	補助金額
	地域福祉	みんなで小西川に人集う小径をつくろう協議会	33
		京丹後よさこい連	90
	地域防災・防犯	京丹後市アマチュア無線ボランティア	111
	産業経済振興	かぶと山ふるさと会	107
		丹後フルーツガーデン	111
		久美浜まるごとプロデュース協議会	111
一般社団法人京丹後青年会議所		74	
伝統文化継承	芋野郷赤米保存会	60	
	二箇区「月の輪田」保存会	100	
	久美浜一区自治振興会	395	
東日本大震災支援	NPO法人音楽のまちづくり	455	
	食と健康	352	
	ゆるボラ丹後の会	340	
	合計	13団体	2,339
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金	1,000千円
評価・課題等	○市民活動団体などが実施する地域の活力向上や課題解決などの取組に対して補助を行うことで、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展の一助とすることができた。 ○平成19年度に本事業を創設以降、一定期間が経過していることから、本制度により助成した団体における補助終了後の活動状況についてアンケート調査等を実施し、事業の効果検証を行う必要がある。		
事業所管課	市民部／市民協働課		

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業					
細事業名	02 市民協働のまちづくり事業補助金			決算書 P.102					
総合計画	基本方針	V パートナースイップ都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化					
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)					
15,990千円		16,000千円		10千円					
				執行率 (参考)当初予算額					
				99.9%					
				16,000千円					
目的	地区等が行う地区所有施設の整備や村おこし・地域づくりなどに要する経費に対して補助金を交付し、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。								
主要な事務・事業及び成果の概要	○市民協働のまちづくり事業補助金 15,990千円								
	地区等が行う地域振興対策事業のうち、地区が所有する施設及び設備の整備に要する経費（1件あたりの事業費が30千円以上1,000千円未満のもの）や村おこし・地域づくり事業（1件あたりの事業費が30千円以上のもの）、その他事業（府民運動継続事業、緊急を要する事業及びその他地域の課題解決のために必要な経費）に対し補助金を交付した。								
	(単位：件、千円)								
	区分	地区所有施設整備		村おこし・地域づくり	その他	合計			
		件数	金額	件数	金額	件数	金額		
	峰山市民局	29	2,169	3	570	4	100	36	2,839
	大宮市民局	27	2,456	2	377	0	0	29	2,833
	網野市民局	19	2,483	4	653	0	0	23	3,136
	丹後市民局	15	2,132	0	0	1	300	16	2,432
	弥栄市民局	17	1,308	0	0	3	736	20	2,044
久美浜市民局	29	2,619	1	87	0	0	30	2,706	
合計	136	13,167	10	1,687	8	1,136	154	15,990	
≪参考≫市民協働のまちづくり事業補助金の交付実績 (単位：件、千円)									
区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25			
件数	135	149	147	181	181	154			
金額	16,807	17,623	17,599	18,964	17,517	15,251			
主な財源	繰入金 地域振興基金繰入金			10,000千円					
評価・課題等	○地区等が行う1,000千円未満の地区所有施設の整備等に対して、地域コミュニティ活動の充実及び強化につながる支援を迅速に行うことができた。 ○補助金を交付することで、地域コミュニティ活動の充実及び強化につながっている。								
事業所管課	市民部／市民協働課／各市民局								

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	15地域活動応援事業
細事業名	01 コミュニティ・ビジネス応援事業			決算書 P.94
総合計画	基本方針	V パートナースイップ都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
8,058千円		11,329千円		3,271千円
				執行率 (参考)当初予算額
				71.1%
				11,329千円
目的	地域の活力向上や課題解決に向けた取組を行う団体の活動支援を行い、市民、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○コミュニティビジネス応援補助金 7,635千円			
	“市民力”を活かしたまちづくりを進め、地域の課題解決を市民が主体となり、ビジネス手法を用いて取組を解決する団体に補助金を交付した。			
	(単位：千円)			
	活動の種類	団体名		補助金額
	健康・医療・福祉	ハープとスローフードのまちづくり		995
		宇川ふるさとづくり協議会		620
		公益社団法人京丹後市シルバー人材センター		1,274
		食と健康		621
	地域産業活性化	栃谷地縁グループ		961
		五十河コミュニティショップ歌仙		1,164
観光振興	月亭リノベーションプロジェクト		2,000	
合計		7団体	7,635	
○コミュニティビジネスリーフレット作成 (23,000部)				278千円
○コミュニティビジネスアドバイザー派遣業務 ※京丹後市総合サービス株式会社				145千円
主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金			5,000千円
評価・課題等	○市民活動団体などが実施する地域の活力向上や課題解決などの取組に対して補助を行うことで、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展の一助とすることができた。 ○取り組んだ事例発表、また活動団体等の意見交換の場を開催し、情報共有することが必要である。			
事業所管課	市民部／市民協働課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	03広報費	01広報広聴事業	
細事業名	01 広報広聴事業			決算書	P.84
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進	
	決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
	36,185千円		36,226千円		41千円
					執行率 99.8 %
					(参考) 当初予算額 35,811千円
目的	広報活動により、市民との市政情報の共有、市民の市政参加の促進を図る。広聴活動により市民の意見等の市政への反映を図る。				
主要な事業及び成果の概要	<p>広報事業では、広報紙及びおしらせ版の発行、防災行政無線及びコミュニティFM等を活用した市政情報の提供を積極的に行った。また、市制10周年を機に市勢要覧を作成、子育てや福祉等の支援制度等をまとめた「くらしの支援ガイド」、市の施策の成果等をまとめた「京丹後市白書」を充実させ発行した。さらに、動画共有サイト（ユーチューブ）上にイベント等の様子を配信し、広報業務の一層の充実を図った。</p> <p>広聴事業では、地域を対象とする「市長の地域づくり出前座談会（地域主権型）」を、5会場で実施（出席者計116人）、また各種団体を対象とする「市長のまちづくり夢座談会」を3グループ（出席者計35人）と実施し、将来の地域・まちづくりに関する意見交換を行った。「わたしの提案・意見箱（ご意見箱）」には176件の意見等が寄せられ、市民からの意見等を反映した市政の推進に努めた。「出前講座」を310回開催し、市の施策や制度について周知を図った。</p> <p>○広報クイズ当選者賞品（図書カード 500円分×5人×12か月分） 30 千円 ○広報基礎セミナーほか旅費 38 千円 ○事務消耗品代、撮影用材料代ほか 30 千円 ○広報紙等印刷製本代 18,330 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報きょうたんご（21,700部、平均28頁、12回） 8,014 千円 ○きょうたんごおしらせ版（21,300部、平均13頁、24回） 6,523 千円 ○くらしの支援ガイド（22,300部） 2,364 千円 ○京丹後市白書「26年度版」（760部） 1,428 千円 ○写真現像代 1 千円 <p>○広報紙発送料、新聞広告掲載料 324 千円 ○市勢要覧作成委託料 12,042 千円 ○京丹後コミュニティ放送（FMたんご）への放送委託料 5,146 千円 ○著作物・フォント使用料ほか 211 千円 ○広報関係団体負担金（日本広報協会、京都府広報協議会） 34 千円</p>				
主な財源	府補	未来づくり交付金（京丹後コミュニティFM放送委託事業）			2,500千円
	諸収入	広報郵送料負担金			53千円
	諸収入	京丹後市白書販売収入			31千円
評価・課題等	○広報紙及びおしらせ版の発行、また防災行政無線及びコミュニティFM等を活用し、市民に市政情報を提供することにより、市政情報の共有、市民の市政参加の促進が図られた。また、「市勢要覧」の発行、「くらしの支援ガイド」「京丹後市白書」の充実、動画共有サイトへの情報配信により、市政情報等の提供の一層の充実が図られた。 ○「わたしの提案・意見箱」の設置、市長のまちづくり夢座談会などにより、市民参加のまちづくりを推進。また、出前講座の開催により、行政施策や制度の周知が図られた。				
事業所管課	秘書広報広聴課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	08情報化推進費	03市ホームページ運用管理事業	
細事業名	01 市ホームページ運用管理事業			決算書	P.98
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進	
	決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
	3,351千円		3,454千円		103千円
					執行率 97.0 %
					(参考) 当初予算額 5,094千円
目的	ホームページやプラズマディスプレイなどメディア媒体を利用して、市政情報や地域情報などを市内外へ発信する。				
主要な事業及び成果の概要	<p>○旅費 13 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ活用研修 <p>○需用費（消耗品費：映像記録メディア等） 20 千円</p> <p>○委託料 2,447 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページコンテンツ管理システム年間保守 432 千円 ・広報紙等デジタルブック変換業務委託 106 千円 ・ホームページシステム改修業務委託 127 千円 ・情報通信機器等移設業務委託（新WEBサーバへの移設） 594 千円 ・WEBサーバ構築業務委託（WEBサーバのクラウド化） 1,188 千円 <p>○使用料及び賃借料 604 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声読み上げ機能ソフトウェア年間使用料 340 千円 ページ内の文字情報などを音声変換し読み上げるソフトウェア ・Web自動翻訳サービス使用料 195 千円 ホームページの翻訳機能（英語・中国語・韓国語） ・動画編集用ソフトウェア使用料 16 千円 ・著作物使用料 53 千円 <p>○備品購入費 267 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画編集用パソコン一式 177 千円 ・ビデオカメラ等 90 千円 				
主な財源	諸収入	ホームページ有料広告収入			421千円
評価・課題等	○より多くの方がホームページを利用できる環境を整え、市政情報や地域情報などを積極的に市内外へ発信することができた。 ○ホームページコンテンツ管理システムを利用したアクセシビリティ（高齢者、障害者に対するホームページ設計基準が満たされているか）等のチェックにより、誰もが見やすく、分かりやすいページ作りができた。 ○市ホームページ閲覧サーバ及び動画編集機材の更新により業務の効率化が図られた。				
事業所管課	秘書広報広聴課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	02文書費	02情報公開・個人情報事務	
細事業名	01 情報公開・個人情報事務			決算書	P.82
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
220千円		221千円		1千円	99.5 %
					265千円

目的	情報公開制度及び個人情報保護制度の適正な運用を図る。							
	○報酬						102千円	
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	情報公開・個人情報保護審査会委員報酬 会議開催：3回 委員数：7人							
	○旅費						35千円	
	費用弁償（33千円） 普通旅費（2千円）							
	○需用費						79千円	
	事務消耗品（7千円） 書籍購入・追録（72千円）							
	○使用料及び賃借料						4千円	
	有料道路通行料							
	公開請求、公開決定及び審査会開催の状況 (1) 請求件数と公開決定の状況							
	実施期間		請求件数	請求に対する決定内容				
				公開	部分公開	非公開	却下	取下げ
市長		1,471 (1,384)	1,429 (1,377)	28 (3)	36 (31)	37 (19)	7 (4)	
教育委員会		127 (102)	121 (102)	2 (2)	3 (3)	3 (1)	1 (1)	
農業委員会		1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	
消防長		15 (14)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
議会		7 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計		1,621 (1,500)	1,572 (1,493)	30 (5)	39 (34)	41 (20)	9 (5)	
※決定内容の件数は決定書単位で表示し、却下には不存在及び存否応答拒否を含む。 ※表中（ ）内数字は、電子申請の件数 (2) 異議申立ての状況 2件 (3) 情報公開・個人情報保護審査会の開催 3回								
主な財源								
評価・課題等	情報公開制度及び個人情報保護制度の適正な運用により件数が多いことは、開かれた市政ではあるが、課題は件数が多いため省力化の工夫が必要である。							
事業所管課	企画総務部／総務課							

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	50地域振興一般経費	
細事業名	01 地域振興一般経費			決算書	P.106
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
16千円		26千円		10千円	61.5 %
					26千円

目的	市民参画と協働のまちづくりを推進するための事務経費等					
	○職員旅費					12千円
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	・地域力再生プロジェクト説明会（福知山市） ・まちの公共員報告会（京都市）					
	○需用費					4千円
	・事務用品代					
	主な財源					
	評価・課題等	京都府の主催する会議に出席することで、広く見聞し協働のまちづくりを進め、地域振興を図る上で参考となった。				
	事業所管課	市民部／市民協働課				